



平成 22 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 日本空港ビルデング株式会社
 代表者名 代表取締役社長 鷹 城 勲
 (コード番号 9706 東証第 1 部)
 問合せ先 専務取締役 石 黒 正 吉
 (TEL. 03-5757-8030)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 22 年 5 月 12 日の決算発表時に公表しました平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想（連結及び個別）及び平成 23 年 3 月期通期の業績予想（連結及び個別）を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株 当 たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	63,100	2,400	2,100	1,000	12 円 44 銭
今回修正予想 (B)	65,000	3,300	3,100	1,200	14 円 93 銭
増 減 額 (B-A)	1,900	900	1,000	200	
増 減 率 (%)	3.0	37.5	47.6	20.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	60,221	2,342	2,298	1,293	13 円 76 銭

平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株 当 たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	133,400	4,200	3,000	1,300	16 円 17 銭
今回修正予想 (B)	136,100	4,100	2,800	600	7 円 46 銭
増 減 額 (B-A)	2,700	▲ 100	▲ 200	▲ 700	
増 減 率 (%)	2.0	▲ 2.4	▲ 6.7	▲ 53.8	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	121,008	5,107	4,991	2,584	29 円 64 銭

(参考)

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	50,600	1,800	1,700	1,000	12円44銭
今回修正予想(B)	52,000	2,200	2,100	800	9円95銭
増減額(B-A)	1,400	400	400	▲200	
増減率(%)	2.8	22.2	23.5	▲20.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期第2四半期)	48,453	1,529	1,468	861	9円17銭

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	107,300	2,800	2,500	1,500	18円66銭
今回修正予想(B)	110,000	2,200	1,700	600	7円46銭
増減額(B-A)	2,700	▲600	▲800	▲900	
増減率(%)	2.5	▲21.4	▲32.0	▲60.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	97,532	3,363	3,094	2,277	26円11銭

2. 修正の理由

当第2四半期累計期間における業績(連結及び個別)につきましては、国際線航空旅客数が当初予想を上回り堅調に推移したこと、また、上期に予定しておりました設備投資計画の一部が下期に先送りされたことにより、売上高及び利益において前回発表予想値を上回る見込みとなりました。

通期(連結及び個別)におきましては、売上高は家賃収入の減少、駐車場料金値下げによる減収等がありますが、本年10月21日から供用を開始した新国際線旅客ターミナルビル関連事業の増収等により、当初計画を上回るものと予想されます。しかしながら、利益面につきましては、上述の家賃収入の減少等による減益に加え、費用面で国有財産一時使用料の増加及び下期に先送りされた設備投資に伴う修繕費等の増加が見込まれ、さらに資産除去債務会計基準の適用に伴う影響により、当初計画を下回る見込みとなりましたので、通期業績予想(連結及び個別)の修正を行なうものであります。

なお、平成23年3月期第2四半期決算発表につきましては、平成22年11月10日を予定しております。

※ 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上